

平成15年7月18日  
中国電力株式会社

### 新帝釈川発電所の本格的な工事の開始について

当社は、新帝釈川発電所(水力、出力11,000kW、広島県比婆郡東城町、神石郡神石町および油木町)の建設準備を進めてまいりましたが、7月23日に起工安全祈願祭を実施し、本格的な工事を開始するはこびとなりました。

今後は、平成18年6月の運転開始を目指し、安全確保、環境保全に最大限努めながら工事を進めてまいります。

#### 起工安全祈願祭

**日時** 平成15年7月23日(水) 11時～12時  
**場所** 広島県比婆郡東城町大字三坂 帝釈川ダム  
**出席者** 中国電力および工事請負会社関係者約30名

##### 【中国電力】

灘和憲(支配人岡山支社長)、塚井直樹(理事土木部長)ほか

##### 【工事請負会社】

鹿島建設・大本組・飛鳥建設・森本組共同企業体(土木本工事〔第一工区〕請負者) 関係者  
奥村組・アイサワ工業・佐藤工業・東急建設共同企業体(土木本工事〔第二工区〕請負者) 関係者

#### 〔当日の取材について〕

取材をご希望されるマスコミの皆さまは、以下にてご案内させていただきます。

また、取材される場合はお手数ですが当社広報室までご連絡ください。

**集合時間** 7月23日(水) 9時30分  
**集合場所** 広島県比婆郡東城町川東1148-3  
中国電力(株)新帝釈川発電所建設所  
Tel 08477-2-5620

**問い合わせ先** 中国電力(株)広報室報道担当  
Tel 082-523-6181

以上

[\(参考\)工事概要他](#)

(参考)

## 【工事概要】

大正13年に完成以来79年を経過している当社最古の帝釈川ダムの保全対策工事[洪水吐(こうずいばき)の増設<sup>注1</sup>, 堤体(ていたい)の補強<sup>注2</sup>]を実施の上, 水資源の有効活用を図るため, 帝釈川発電所(大正13年運転開始, 最大出力4,400kW)を再開発して最大出力11,000kWの新しい発電所を建設します。なお, 工事エリアが広いことから, 土木本工事は2工区に分けて施工します。

○第1工区: ダム, 取水口, 導水路トンネルの上流側約450m

○第2工区: 導水路トンネルの下流側約4,000m, 水圧管路, 発電所, 放水口

注1 既設のトンネル式洪水吐に加えて, 堤体越流式洪水吐を新設し, 洪水処理能力の向上を図ります。

注2 堤体下流面にコンクリートを打ち増し, 安定性の向上を図ります。

所在地 (発電所) 広島県神石郡油木町  
(ダム) 広島県比婆郡東城町及び神石郡神石町

取水河川 高梁川水系帝釈川

発電方式 ダム水路式

最大出力 11,000kW

最大使用水量 10.0m<sup>3</sup>/s

有効落差 129.0m

運転開始 平成18年6月(予定)

総工事費 約155億円

## 【主要経緯】

平成11年11月 地元へ建設申し入れ

平成13年 9月 電源開発基本計画に組み入れ

平成14年 7月 準備工事(町道改良等)着工

平成15年 5月 電気事業法第48条に基づく工事計画届出

## 【添付資料】

[計画位置図](#) (PDF:169KB)

このPDFファイルをご覧になるには Acrobat Reader4.0以上が必要です。



# 計画位置図

